

SSHCONニュース

第81号 発行日：令和5年1月30日

(一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会埼玉支部

・TEL 048-649-8617 ・Fax 048-649-8618

・〒 330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-116-1 安藤ビル3F

・支部 URL <http://jashcon-saitama.com/>



令和5年を迎え謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年の干支は癸卯（みずのと・う）です。語源は諸説あるようですが、「癸」は「恵みの水、春の訪れ」、「卯」は「努力の結実、跳躍」という解釈もできるようです。皆様のこれまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になることを期待したいと思います。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを現在の「2類」から「5類」に引き下げる方向（5月8日）で政府内の検討が進められています。感染者数と重症化率は減少傾向にあるようですが、根本的な感染の収束が期待されます。

支部会員とご家族の皆様にとって、未来に希望が持て、健康に過ごせる年となりますように祈念いたします。（事務局広報部）

ニュースの主な内容

1. 研修部だより	2
2. 事務局だより	3
3. 最近の報道より	6

1. 研修部だより

【 第 128 回 埼玉支部定期研修会 開催報告 】

埼玉支部研修部会主催の定期研修会（第 128 回）を令和 4 年 9 月 11 日（水）にハイブリット形式（浦和コミセン+Zoom 利用）で開催いたしました。

今回の研修はコロナ前と同じく、南関東ブロック会議各支部にも案内を送付し、Zoom 会議を利用して東京支部会員、神奈川支部会員メンバーからも複数の参加がありました。

今回の出席者数は会場 19 名、Zoom20 名で、研修会テーマと講師は以下のとおりです。

・講演テーマ 1 「最近の労働安全衛生行政に関する動向」

講師： 埼玉労働局 労働基準部 健康安全課長 繁野 北斗 講師

・講演テーマ 2 「安全衛生の保護具を提供する側からの紹介」

講師： スリーエムジャパン(株) 梅原 孝之 講師

講師の方には講演時間内に収まるためのシナリオと資料の準備をお願いしたことや、会場の関係上、リハーサルができずにぶっつけ本番で集会室での機器設定と運用となり、ご協力いただいた方には負担をかけてしまいましたが、好評のうちに研修を修了することができました。

反省点としては、初めての浦和コミセン会場+Zoom（埼玉支部のリモート会議はこれまで Teams 利用）のハイブリット形式だったため、天井スピーカー、会場マイク、Web カメラとマイクなどが競合してしまい、ハウラーなどの問題が露出した点でした。（この経験を今後は生かしたいと思います）

次回の支部研修会につきましては、実施時期と研修テーマの見通しがついた時点で会員の皆様にはご案内をしたいと思います。

（森玄正研修部長）

2. 事務局だより

令和4年度第2回臨時幹事会（Web）が令和4年12月10日にリモート会議方式で開催されました。

I 報告事項

1. 支部長報告

(1) 南関東ブロック会議（10月21日）

総参加者28名、そのうち会場参加者が18名、Zoom参加者10名
参加者及び関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。
本部会報に掲載するための報告書(4ページ)は作成済み。

(2) 12月5日、埼玉支部会員の島田昭義様が逝去されました。

家族葬にあたり、埼玉支部から供花を贈りました。

(3) 埼玉支部事務所のパソコンのハードディスクをSSDに装換する予定。

2. 事業部会各部からの報告

(1) 企画部（真崎企画部長）

10月20日に行われた埼玉産業安全衛生大会にリーフレットを300部持参した。

(2) 研修部（森研修部長）

埼玉支部研修会（第128回 11月9日）を以下のとおり開催した。

- ・会場（浦和コミュニティセンター）参加者は18名
- ・Zoom参加者は20名（うち神奈川7名、東京4名）
- ・欠席の連絡があったのは16名
- ・講演テーマと講師

① 『最近の労働安全衛生行政に関する動向』

埼玉労働局 労働基準部 健康安全課長 繁野 北斗講師

② 「安全衛生保護具を提供する側からの紹介」

㈱スリーエムジャパン 梅原孝之講師

(3) 業務部（井上業務部長）

現在までの相談件数は15件、不成立は1件、交渉中は3件。

(4) 総務部（椎名総務部長）

会員の入会・退会について

新規入会者なし。退会者は島田昭義様1名。

(5) 広報部（青木広報部長）

SSHCON ニュース 80号を11月に発行

(6) 会計部（田中会計部長）

支部会計の現状に関して

- ・会費は全て入金済み。
- ・支出は予算より少なくなる見込み。
- ・収入はプラス約 20 万円になる見込み（契約成立見込み分を含む）。

(7) 事務局（小北事務局長）

埼玉労働局から、安特説明会を 3 月 10 日に開催するので出席して欲しいとの連絡がありました。直近になったら労働局からメールが入るとのこと。

Ⅱ 審議事項

1. インボイス制度に関して（中澤支部長）

本部から説明があり、支部の会計に関しては、8%と 10%がわかるようにして欲しいとのこと。

会員個人の対応については、本部からの要望などは特にないので、会員個人の責任として対応して欲しいとのこと。

2 月頃に、支部の会計処理について本部から説明がある予定。

本部から情報があれば、その都度支部会員に伝達します。

2. 業務改善提案に関して（井上業務部長）

前回の令和 4 年度第 1 回臨時幹事会で提案し、その後検討を重ねた事項について、下記のとおり報告します。

(1) 企画部（真崎企画部長）

事業者が安全衛生活動の支援について埼玉支部に相談しやすくなるように、埼玉支部のホームページに掲載するリーフレットを作成した。これをホームページに掲載したいので、内容について幹事会メンバーに意見照会をかける予定。

(2) 支部パソコンの外付けハードディスクの分割利用（森研修部長）

業務別にパーティション分けを行った。

今後は、業務別にアクセス制限をかけて運用することになる。

外付けHDドライバへの割当ては以下のとおり。

F : 250 G B（既存で使用+25 G Bの予備）

P : 70 G B（支部長用）

Q : 70 G B（事務局長用）

N : 50 G B（事業部会長用）

O : 5 8 G B（監事用）

G : 50 G B（総務部用）

L : 50 G B（業務部用）

H : 50 G B (会計部用)

E : 50 G B (企画部用)

空き : 80 G B (予備)

J : 50 G B (広報部用)

K : 50 G B (研修部用)

空き : 50 G B (予備)

(3) 業務部 (井上業務部長)

安全衛生相談記録管理表を整備した。

支部納付金が未払いの人は処理をお願いします。

(4) 広報部 (青木広報部長)

SSHCONニュースについて

巻頭あいさつ文は青木広報部長が担当。

掲載記事は、幹事の中の投稿当番制賛同者で順番に担当する (令和5年4月から)。

(5) 会計部 (井上業務部長、田中会計部長)

窓口支払い、ATM支払い、電子支払いの3パターンのそれぞれのメリットとデメリットについて説明を行った。この3案の中から選ぶことになる。

インターネットバンキング経由で処理する案などについても議論がされたことから、これらの議論を踏まえて整理し、次回の幹事会で提案する予定。

Ⅲ 次回幹事会の予定

2023年2月18日(土) 14:00～

以上

3. 最近の報道より

■厚生労働省その他の動き（気になる情報の抜粋）

月日	表題	概要
令和4年 10月7日	厚生労働省 「労働基準法施行規則第35条専門検討会」報告書	労働基準法施行規則別表第1の2のうち、化学物質による疾病、MOCAによる職業がん及び過重労働による脳・心臓疾患の追加を提言 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_28397.html
10月25日	大阪労働局労働基準部安全課 労働災害防止好事例～フォークリフト編～	(株)クボタ恩加島（おかじま）事業センターを訪問し、フォークリフト災害を防止するための安全衛生活動を紹介。 動画 URL： https://www.youtube.com/watch?v=7dHMTJqJXVI
10月28日	厚生労働省 建設業における墜落・転落防止対策の充実強化に関する実務者会合報告書	建設業の死亡災害の約4割が墜落・転落によるものであることを踏まえ、墜落・転落防止対策の充実強化について検討したもの。厚生労働省では、この報告書を受けて労働安全衛生規則や関係ガイドラインの見直しなどを進める予定。 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000167504_1_00001.html
11月9日	川崎南労働基準監督署 「建設現場で断熱材による火災が発生！」リーフレット	令和4年10月に建設現場で断熱材による火災が連続して発生したことから、建設現場における火災に注意するよう、リーフレットが作成された。 https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/content/contents/001297221.pdf
11月9日	厚生労働省 「建築物の解体・改修等における石綿ばく露防止対策等検討会」報告書	工作物に関する石綿に係る事前調査については、「建築物の解体・改修等における石綿ばく露防止対策等検討会工作物に関するワーキンググループ報告書」（令和4年10月11日厚生労働省労働基準局安全衛生部）のとおりとすることが妥当とされた。 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29091.html

11 月 21 日	厚生労働省 令和 4 年度 化学物質管理に係る 専門家検討会 中間取りまとめ	令和 4 年 5 月に公布された、労働安全衛生法 による新たな化学物質規制を円滑に施行する ため、労働者のばく露が大臣の定める基準（濃 度基準値）以下であることを確認するための 測定方法や、個人サンプリング法による作業 環境測定の実用拡大等の方針を示している。 https://www.mhlw.go.jp/content/11305000/001015453.pdf
11 月 29 日	新潟労働局 米菓製造工場等に対する安全衛生 指導の結果	新潟労働局が県内の米菓製造工場に対して個別 に指導を実施した結果がとりまとめられた。 https://jsite.mhlw.go.jp/niigata-roudoukyoku/sintyaku_00161.html
11 月 30 日	厚生労働省告示第 341 号 第三管理区分に区分された場所に 係る有機溶剤等の濃度の測定の方法等	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001018471.pdf
12 月 1 日	厚生労働省 リスクアセスメント対象物製造事 業場向け化学物質管理者テキスト （令和 4 年 12 月時点暫定版）	講習の円滑な実施のために暫定版が公表され た。今後、告示や指針等の制定・改正が予定さ れているため、現時点で未記載や大幅に記載内 容の変更の可能性あり。最終版は令和 5 年 3 月 頃公表予定。 https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001035443.pdf
12 月 14 日	第 14 次労働災害防止計画（案） （第 151 回労働政策審議会安全衛 生分科会（資料））	https://www.mhlw.go.jp/content/11201250/001024205.pdf
12 月 26 日	厚生労働省告示第 371 号 労働安全衛生規則第五百七十七條 の二第三項の規定に基づきがん原 性がある物として厚生労働大臣が 定めるもの	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001030128.pdf
12 月 26 日	保護具着用管理責任者に対する教 育の実施について（令和 4 年 12 月 26 日付け基安化発 1226 第 1 号）	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001031069.pdf
令和 5 年 1 月 6 日	化学物質管理専門家の要件に係る 作業環境測定士に対する講習につ いて（令和 5 年 1 月 6 日付け基発 0106 第 2 号）	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001035560.pdf

次号は令和5年4月中旬頃発行予定です。皆様よりの情報提供を期待しています。
また、コンサルタント事例としての経験談（成功談でも失敗談でも）を募集しています。
それ以外の内容でも大歓迎です。寄稿をお待ちしています。

- ・今回のSSHCON ニュースに対するご感想・意見等をお寄せ下さい。
- ・みなさんがお持ちの情報、写真等で会員みなさんに提供したいものがありましたら、連絡下さいますようお願い致します。